

●準備するもの

草花、アイロン、ハガキ（厚紙）、透明シール、新聞紙、半紙、布

透明シールは本の保護のため表紙に貼るシール（製品名は木原 B-コート、ピッチン（35cm × 2m で 550 円）など）で、文房具屋さんやホームセンターなどで売っている。今回はパウチを使う。

●作り方

手順：草花を集める → おし葉を作る → おし葉をカードに貼る

1. 草花を集める

テーマを考えて集めよう

■春の七草を集めてみる。

セリ、ナズナ、ハハコグサ（ゴギョウ）、ハコベ（ハコベラ）、コオニタビラコ（ホトケノザ）、カブ（スズナ）、ダイコン（スズシロ）

■万葉集や百人一首に出てくる草花を集めてみる。

■ことわざや故事にでてくる植物を集めてみる

例) たでくう虫も好き好き。（タデのなかま；イヌタデ、ヤナギタデなど）

青は藍より出でて藍より青し。（タデアイ）

桃栗3年、柿8年（モモ、クリ、カキノキ）

※集める草花の大きさはハガキの大きさ（10cm×14.8cm 以内）。

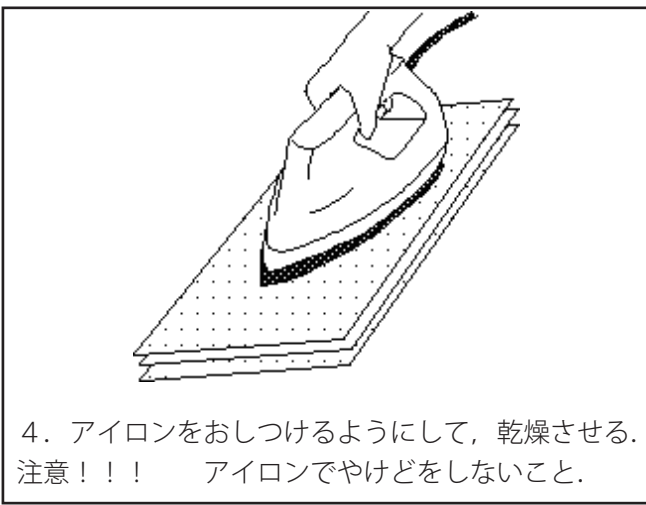
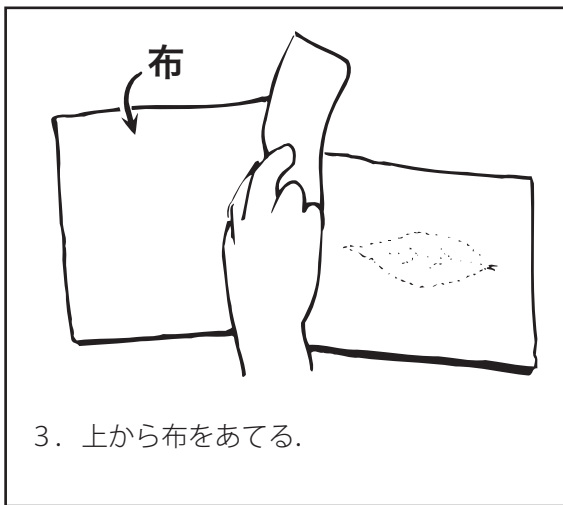
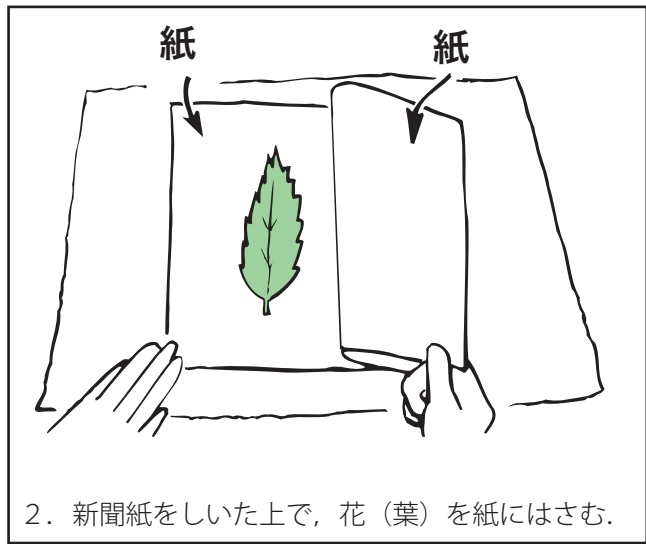
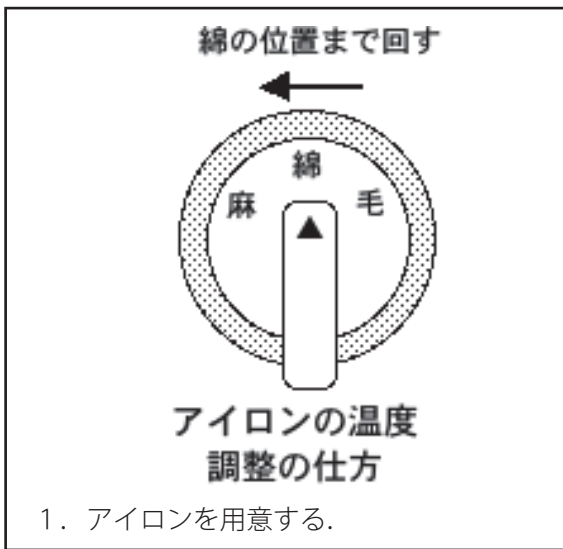
葉や花の厚さが薄いものの方がおし葉作りが簡単。

2. おし葉を作る

おし葉の作り方。

- ・新聞紙ではさみ、おもしろをのせ、おして乾かす（ふつうの標本の作り方）。
- ・電子レンジで加熱する。
- ・アイロンを使う。

この方法は短い時間で早くおし葉をつくるのに向いている。ほかにも、特殊な乾燥シートを使う方法や電子レンジを使う方法がある。ただ、種類によっては色がおかしくなったり、色が早くぬけることがある。また、植物がつぶれすぎてペチャンコになるので、標本を作る方法としては向いていない。



3. おし葉をカードに貼る^は

ハガキの表側に草花の名前を書^かく。

ほかにも利用方法や、和歌^{わか}など、その植物^{りようほうほう}について知^しっていることを記入してもよい。

透明^{とうめい}の図書用シール^{としょよう}を使って、おし葉をカードの裏側^{うらがわ}に貼^はりつける。

※パウチがあればきれいにできる。

カードには葉や花だけでなく、たね^みや実^え、絵^え、写真^{しゃしん}、図鑑^{ずかん}のコピー^はなどを貼^はってもよい。

リュウノウギク (キク科)

花の咲く時期：秋

葉をもむとクサイにおいがする。

おもて
表



うら
裏



4. 遊び方の工夫

名前や故事ことわざ、和歌などと言って、その植物のカードをとるだけでなく、カードの遊び方はいろいろある。工夫次第でいろいろと遊べる。

○花の色、季節、生えている場所を言って、そのカードとる。

○同じ種類の葉と花(種)で別々のカードを作って、葉のカードを見て花(種)のカードをとる。トランプの神経衰弱のように遊んでもおもしろいかも。

○利用方法を言って、その植物のカードをとる

例) ショウノウ→クスノキ、もぐさ→ヨモギ、炭→ウバメガシ
かしわ餅→カシワ、サルトリイバラ

■参考にした本

おし葉の作り方

小林正明 1991. 原色おし葉の作り方 遺伝 45(12):58-63

日本レミコ押し花学院編著 1984. 原色現代押し花 デザイン集.

万葉集に出てくる植物

吉野正美 1988. 万葉集の植物 偕成社

徳島県立博物館

小川 誠

ogawa_makoto_1 @ mt.tokushima-ec.ed.jp
<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/ogawa/>

(C)Tokushima Pref. Mus. 2016
